

IoT時代のモヤモヤを自宅で解消

ダウンロード・データあります

メカニズム丸見え! ラズパイ AIサーバを作る

ご購入はこちら

第13回 IoTデータ収集&保存プログラム

土屋 健

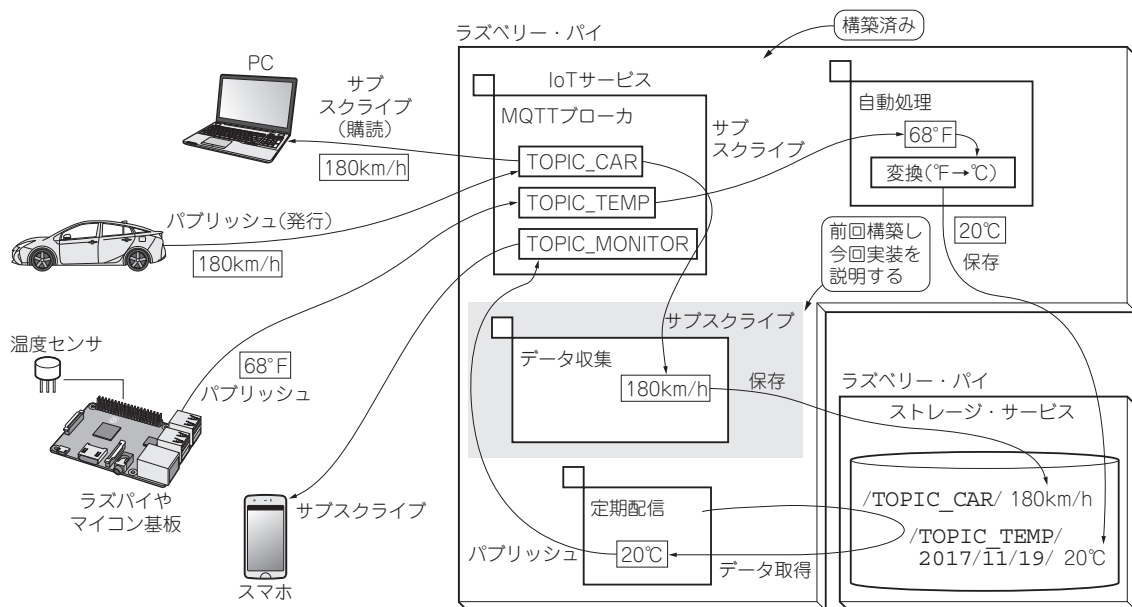


図1 ラズベリー・パイで作る Myサーバ…今回はデータ収集のプログラムについて解説

前回(第12回, 2018年3月号)作成したデータ収集機能(メッセージ・コレクタ, 図1)のプログラムについて解説します。実装は過去に紹介したストレージ・サービスと同じようにGo言語(バージョン1.7.4)を使用します。

また、WebAPIを実装するためにGo言語のフレームワーク Echoを、MQTTアクセス・ライブラリとしてPaho MQTT Go clientを利用します^{注1}。

● 今回の位置づけ

前回構築したデータ収集機能を実装するに当たり、

注1: Go言語については<https://golang.org>や書籍などを、Echoフレームワークについては<https://echo.labstack.com>を参照してください。Paho MQTT Go clientについては、<http://www.eclipse.org/paho/>を参照してください。

MQTTブローカからメッセージを受信/転送/制御する部分のプログラム・コードを解説します。プログラム・コード中の関数や動作、処理手順について、プログラム・コードをトレースしながら見ていきましょう。

データ収集機能の構成

● ファイル構成

データ収集プログラムは、MyServer/MyIoT Service/MessageCollector/にある2つのファイルで成り立っています。

MessageCollector.go:

データ収集プログラム本体

config.json: 設定ファイル

ここではデータ収集プログラム本体(MessageCollector.go)について説明します。図2にダウ